

編著者プロフィール

◆ 編著

小林健二 (Kenji KOBAYASHI)

社会医療法人城西医療財団 城西病院 内科

1988年信州大学医学部卒業。1992年米国ニューヨーク州 Beth Israel Medical Center 内科レジデント，1995年米国オハイオ州 University Hospitals of Cleveland 消化器内科・先進内視鏡フェローを経て1999年帰国。東海大学消化器内科，大船中央病院内科，亀田京橋クリニック消化器内科，市立大町総合病院消化器内科などに勤務後，2024年から城西病院内科に在籍。



専門は消化器病学一般，消化器内視鏡。

著書に「消化器疾患の診かた，考えかた」（中外医学社，2017年），「極論で語る消化器内科」（丸善出版，2018年），「消化器診療プラチナマニュアル」（メディカル・サイエンス・インターナショナル，2021年）がある。

◆ 著

中野弘康 (Hiroyasu NAKANO)

医療法人社団恵生会 竹山病院 内科

2008年東邦大学卒業。大船中央病院で臨床研修。聖マリアンナ医科大学消化器内科，川崎市立多摩病院総合診療センターを経て，2019年4月より大船中央病院内科。2024年4月より現職。



2022年金芳堂より「消化器疾患のゲシュタルト」を発刊（編著）。他，「レジデントノート」（羊土社）や「総合診療」（医学書院）のゲストエディターを務めた。専門は内科一般。現在は地域包括ケア病院で勤務しており，病棟では老年科医として，外来では思春期から老年期に至るまで内科医として幅広い患者層の診療に邁進している。